

令和2年第2回看護学研究科特別教授会 議事概要

1. 日 時 令和2年1月29日(水) 13時56分～14時08分
2. 場 所 大会議室
3. 出席者 特別教授会構成員 17名

議事に先立ち、前回(令和2年第1回特別教授会)議事要旨(研究科内用)、議事概要(学外公開用)について確認があり、原案どおり承認された。

4. 議 題

(1) 先端実践看護学専攻(成人看護学)の教授候補者の選出について

研究科長から1月15日開催の特別教授会で承認された標記教授適任者について、投票により決定したい旨発言があり、続いて可・否(○又は×)の無記名投票によること及び有効投票(白票は有効投票)の過半数を得る必要があることが確認された後、投票を行い教授候補者が決定した。

(2) 先端実践看護学講座高度実践看護学(成人看護学)の助教候補者の選出について

研究科長から1月15日開催の特別教授会で承認された標記助教適任者について、投票により決定したい旨発言があり、続いて可・否(○又は×)の無記名投票によること及び有効投票(白票は有効投票)の過半数を得る必要があることが確認された後、投票を行い助教候補が決定した。

(3) 文化創成看護学講座専門職育成学(看護教育学)の准教授候補者の選出について

研究科長から1月15日開催の特別教授会で承認された標記准教授適任者について、投票により決定したい旨発言があり、続いて可・否(○又は×)の無記名投票によること及び有効投票(白票は有効投票)の過半数を得る必要があることが確認された後、投票を行い准教授候補者が決定した。

(4) 附属看護実践研究指導センターの講師候補者の選出について

研究科長から1月15日開催の特別教授会で承認された標記講師適任者について、投票により決定したい旨発言があり、続いて可・否(○又は×)の無記名投票によること及び有効投票(白票は有効投票)の過半数を得る必要があることが確認された後、投票を行い講師候補者が決定した。

以上